



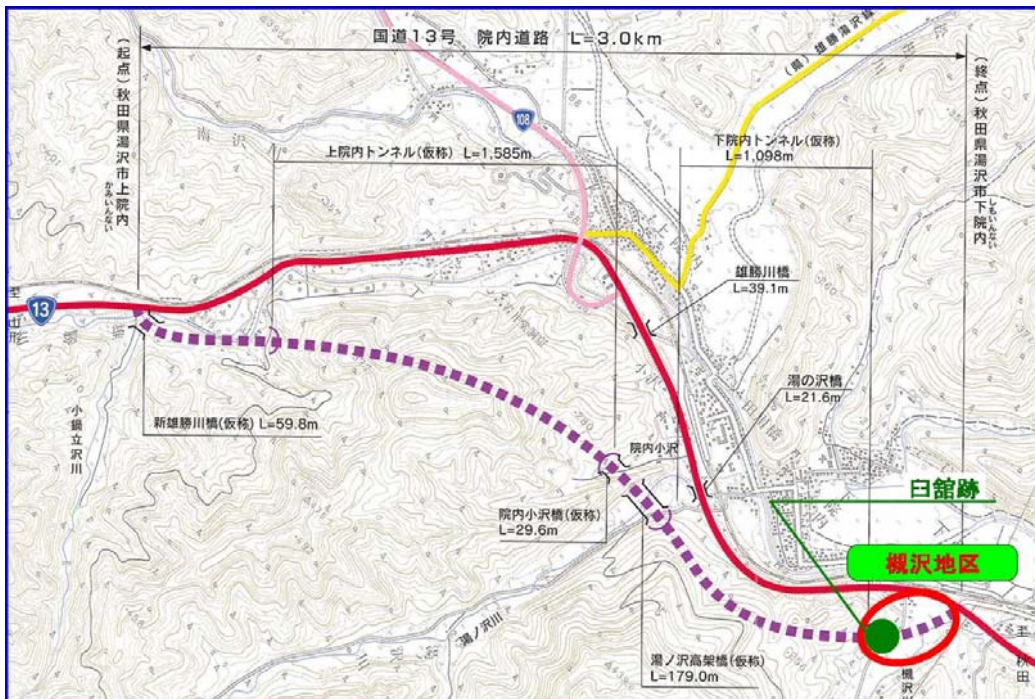
院内道路における臼館跡見学会開催について

～縄文時代前期を中心とした遺構・遺物の発見～

一般国道13号院内道路改築事業では、現在、橋梁・トンネル等の道路構造物を施工していますが、同時に槻沢地区で埋蔵文化財（臼館跡）の発掘調査を実施しています。

発掘調査は秋田県教育庁が主体となり、秋田県埋蔵文化財センターが調査を実施していますが、臼館跡では、縄文時代前期を中心とした遺構や遺物が発見され、磨製石斧の生産を行っていたことが明らかになっています。

この度、秋田県埋蔵文化財センターから臼館跡の見学会の案内がありましたのでお知らせします。（当ホームページでは、院内道路の工事進捗状況を更新しておりますので併せて御覧ください。）



縄文時代前期土器の出土状況



磨製石斧未製品(左2点)と完成品の刃部破片

白館跡見学会実施要項

1 目的

秋田県埋蔵文化財センターが実施した白館跡の発掘調査成果を、地域住民や県民に公開し、埋蔵文化財の保護・活用をはかる。

2 主催

秋田県埋蔵文化財センター

3 対象

県民

4 日時

平成22年9月11日(土)

13:30～14:50

(受付は13:00～)

5 場所

白館跡発掘現場

住所：湯沢市下院内字焼山18

電話：0186—33—2681

6 日程

13:00～13:30 受付

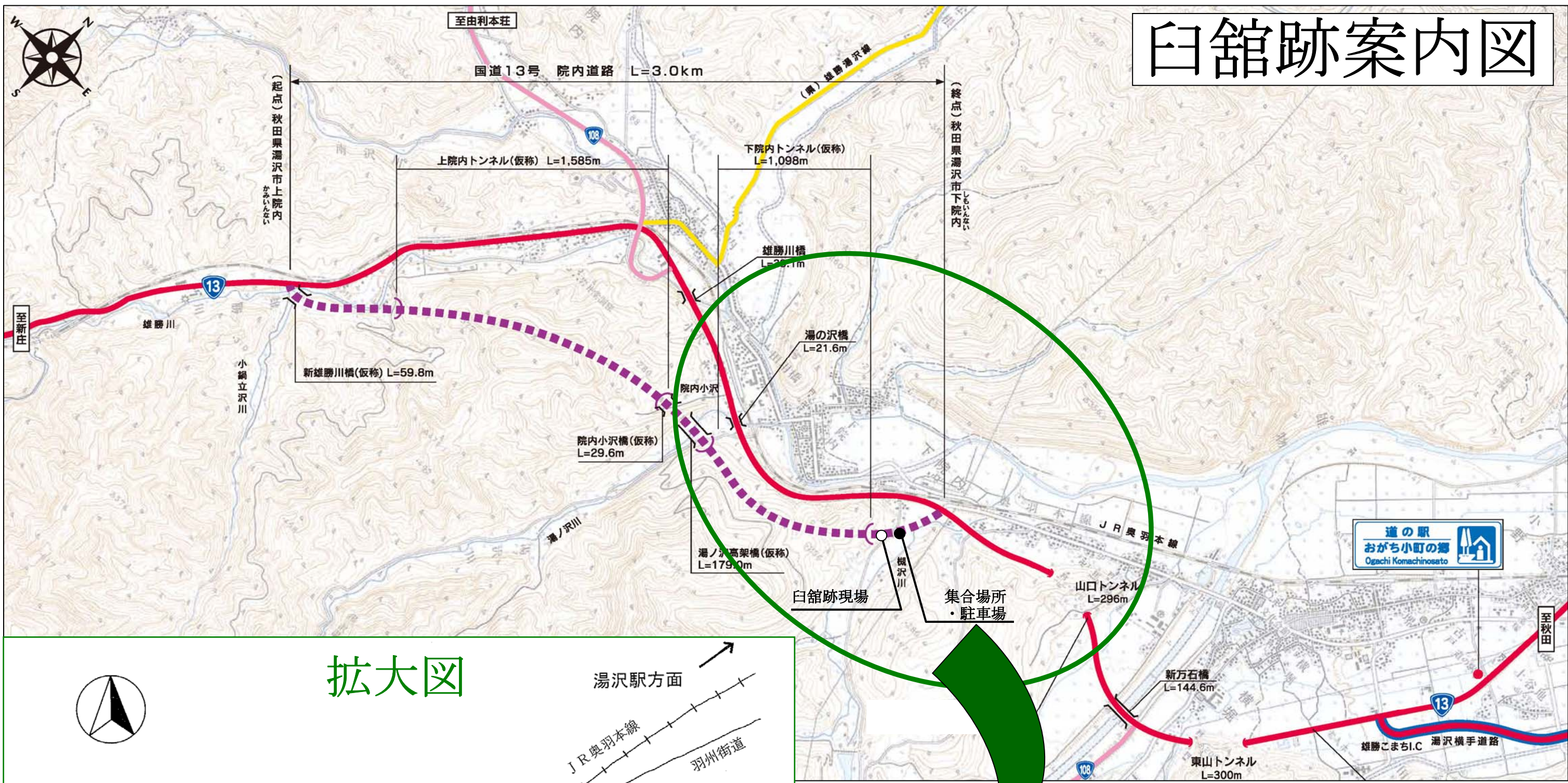
13:30～13:35 開会あいさつ

13:35～13:40 白館跡概要説明

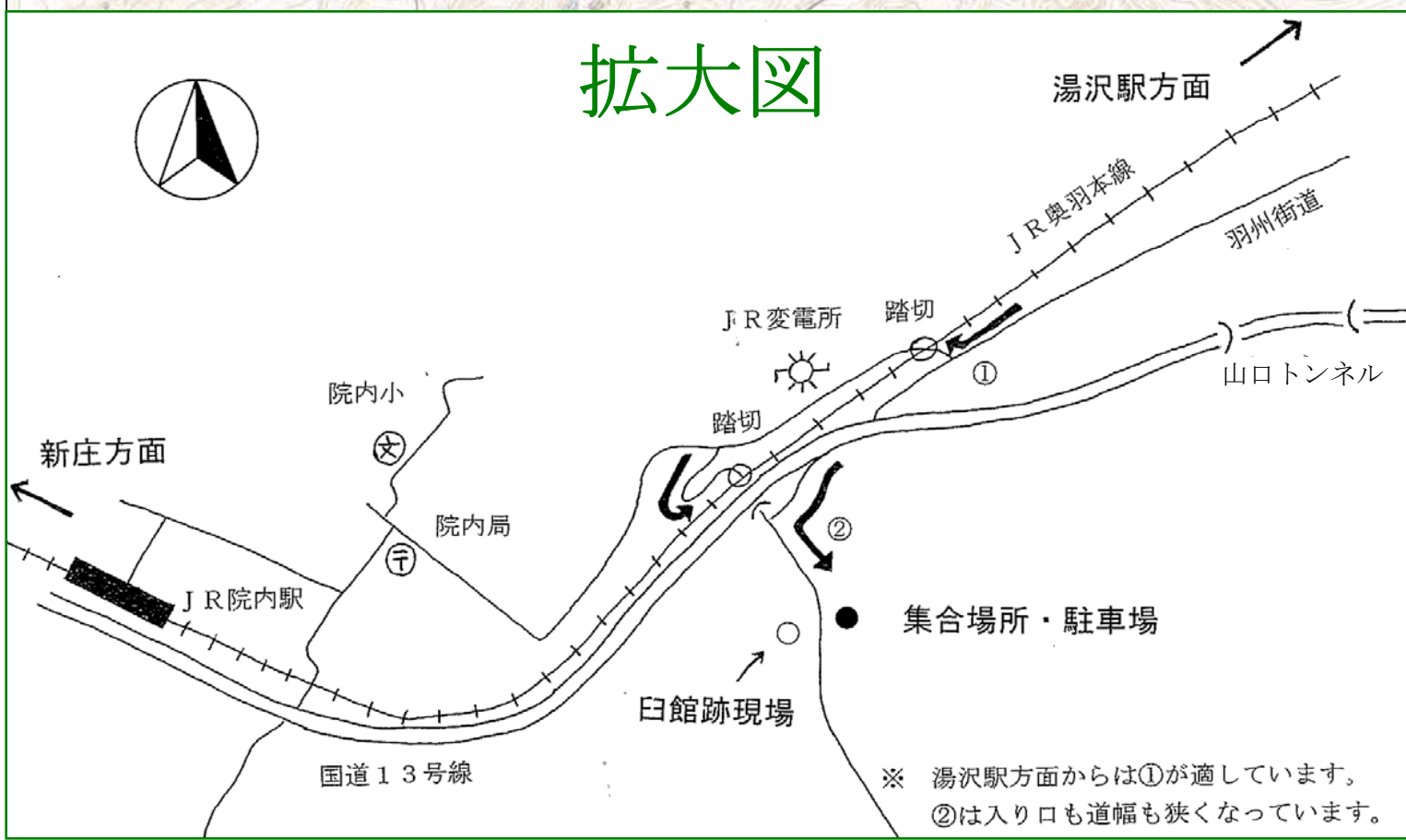
13:40～13:50 調査区へ移動

13:50～14:50 説明・質疑応答

白館跡案内図



拡大図





縄文時代前期土器の出土状況



磨製石斧未製品の
土坑内出土状況



磨製石斧未製品（左2点）と
完成品の刃部破片